

【参加上の注意】・・・選手に印刷・配布し、読み合わせを実施した上で参加してください。

■ 大会プログラムについて

- ・大会プログラムは配布いたしませんので各自で印刷してください。

■ 受付について

- ・入場後、顧問の先生は、本部で参加確認の受付をしてください。
- ・「棄権」がある場合は同時に申し出てください。

■ 朝の練習について

- ・タイムテーブルを参照してください。

■ 競技方法

- ・現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・ニッタク・VICTAS・タマスから選択する。(VICTAS, タマスは本部に取りに来てください)
- ・全試合5ゲームスマッチで行う。
- ・ベンチアドバイザーは**ベスト8決定戦**より認める。
- ・タイムアウト制は適用しない。

■ 進行について

- ・タイムテーブルに記載されている開始時間は、目安です。
- ・コート変更、時間変更をする場合、放送で指示します。
- ・試合終了後、**勝者**は、対戦カードを進行席に届けて下さい。次の対戦カードを受け取り、コートに持って行って下さい。
- ・敗者は、そのコートで待機します。次の試合の審判をお願いします。

■ 審判について

- ・初戦の審判は補助員、2回戦以降敗者審判制とする。

■ 競技上の注意

①用具、服装等について

- ・ラバーは、ラケット本体の外周いっぱいまで、しかも外にはみ出ないように覆うものとする。
- ・粒高ラバーの粒の欠損については認められない。
- ・ユニフォームはJTTAの公認マークが付いたものを着用する。対戦相手と同一のユニフォームであってはならない。同一の場合は主審がトスによってどちらが換えるかを決定する。各選手は色・柄の異なった2種類以上のユニフォームを用意する。

②競技中の確認事項

- ・個人戦のベンチアドバイザーは、試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- ・試合前の練習は片面3本または1分以内とする。

- ・正規サービス（16cm以上のトス等）、促進ルールについて正しく理解すること。
  - \*促進ルール：ゲーム開始後10分を経過しても終了しない場合に適用。ただし、双方の競技者または組のポイントの和が18ポイント以上の場合は、促進ルールは適用されない。
- ・ゲーム間の休憩、アドバイスは1分以内とする。
- ・個人戦の抗議は、競技者のみが行うことができる。
- ・グッドプレゼンテーション

競技者、コーチまたはアドバイザー、競技役員は、スポーツをよりよく見せるという目標を支持し、スポーツ倫理に反するような、競技の要素に影響を及ぼすいかなる試みも自制することでスポーツのインテグリティ（高潔性・健全性）を保障しなければならない。競技者は最大限試合に勝つ努力をしなければならず、大会中は病気や負傷等の正当な理由なしに棄権することは慎まなければならない。

### ③遅延行為・5秒ルールについて

- ・競技は1マッチをとおして、継続的でなければならない。次のような場合は遅延行為とみなす。  
（なかなか球拾いに行かない、帰ってこない。プレーの再開が遅い。）

※「5秒ルール」とは、球拾いから戻りテーブルについた時から、主審は腹時計で「5秒」を計時し、まだプレーに入らない選手にゲームを開始するよう促す。必要以上に間合いを取らせない。度重なった場合には、イエローカードやレッドカードを使用する。

### ■ その他

- ・撮影動画等 SNS への公開は他校選手の肖像権の関係でトラブルになる可能性があります。許可なく公開をしないでください。